

人間総合科学研究科 世界遺産専攻（博士前期課程）

必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01EC401	世界遺産論		1	2.0	1・2	春AB	水2,3	7Z306	稲葉 信子, 吉田 正人, 八木 春生, 上北 恭史, 黒田 乃生, 松井 敏也, 杉山 卓史, 伊藤 弘, 下田 一太	世界遺産保護の基礎となる理念と技術的の体系に関する世界遺産学の総論と事例紹介を行う。また世界遺産研究に必要な研究の基本的視点について議論する。	春日ブラザゼミナール室
01EC404	世界遺産特別研究		0	3.0	2	通年	随時		稲葉 信子, 吉田 正人, 八木 春生, 上北 恭史, 黒田 乃生, 松井 敏也, 伊藤 弘, 杉山 卓史, 下田 一太	世界遺産の評価と保存、マネージメントおよび計画手法、国際協力等の事例研究を通じて修士研究を進め、成果を修士論文としてまとめる。	平成25年度以前の入学者に限る
01EC405	世界遺産特別演習		2	3.0	1	通年	随時		稲葉 信子, 吉田 正人, 八木 春生, 上北 恭史, 黒田 乃生, 松井 敏也, 杉山 卓史, 伊藤 弘, 下田 一太	世界遺産の評価と保存、マネージメントおよび計画手法、国際協力等の研究に必要な基本的技術を習得し、修士研究の計画を進める。	
01EC406	世界遺産特別研究		8	6.0	2	通年	随時		稲葉 信子, 吉田 正人, 八木 春生, 上北 恭史, 黒田 乃生, 松井 敏也, 伊藤 弘, 下田 一太, 杉山 卓史	世界遺産の評価と保存、マネージメントおよび計画手法、国際協力等の事例研究を通じて修士研究を進め、成果を修士論文としてまとめる。	平成26年度以降の入学者に限る

選択必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01EC501	世界遺産学外研修		3	3.0	1・2	通年	随時		杉山 卓史	遺産の保存と活用に関する組織や現場において実地研修を行う。研修にあたっては、修士研究の主題との関連性に留意する。	
01EC507	無形遺産論		1	1.0	1・2	通年	集中			無形遺産の概念、保護の体制、遺産保護の事例を通して、無形遺産への理解を深め、無形遺産が持つ文化的価値について考究する。	
01EC509	保存哲学概論		1	1.0	1・2	秋AB	月5	7Z306	杉山 卓史	遺産保護をめぐる議論において中心的な役割を担っている諸概念の由来・含意等を掘り下げて検討する。	春日ブラザゼミナール室
01EC515	宗教論		1	1.0	1・2	春AB	木6		山中 弘	聖地や巡礼という宗教的場所や行為をツーリズムとの係わりで論じる文献を読むことを通じて、現代の宗教動向を考察する。	
01EC519	文化遺産演習		2	2.0	1・2	夏季休業中	集中		黒田 乃生	世界文化遺産およびその周辺での維持管理活動の体験を通して、世界遺産保護の手法を学び、意義および問題点について考察する。	
01EC536	文化遺産論		1	1.0	1・2	春A	木3,4	7Z306	稲葉 信子	文化遺産の保護について、遺産の概念、保護の理念、日本及び諸外国の保護制度の概要、さらにそれらの現在に至る歴史的経緯の理解を通して、現代社会における役割、その現状と今後について考察する。	春日ブラザゼミナール室
01EC538	自然遺産論		1	1.0	1・2	春AB	木2	7Z306	吉田 正人	自然遺産保全の基礎となる自然保護、生物多様性保全を学ぶとともに、自然遺産と関連する保護地域制度と自然遺産の関連性についても考察する。	02JZ005と同一。 春日ブラザゼミナール室
01EC539	自然遺産演習		2	2.0	1・2	夏季休業中	集中		吉田 正人	自然遺産地域における現地調査を通じて、自然遺産地域の保全と管理、およびそれに対する地域住民や専門家の参加について学ぶ。	02JZ103と同一。
01EC544	遺産保護行政論		1	1.0	1・2	通年	集中			日本の遺産保護に関わる政策、行政システムについて理解し、日本の遺産保護制度の体系や保護の方法について理解する。	
01EC546	ユネスコと世界遺産条約		1	1.0	1・2	春B	木3,4	7Z306	稲葉 信子	世界遺産条約について、条約の成立に至る歴史的背景を含む制度の詳細、運用の実態の分析を通して、またそれをユネスコが行う文化と自然に関する総体的な活動の中に位置付けて理解すること、現代社会における世界遺産条約の役割、特に文化遺産・自然遺産保護の国際的な枠組みにおける条約の位置づけ、その現状と今後について考察する。	春日ブラザゼミナール室
01EC561	遺産の保存と活用		1	1.0	1・2	通年	集中			世界文化遺産ないし関連遺産の学際研究および保存・活用の現状と課題を学び、世界遺産保護の専門家としての実践的能力を養成する。	

選択科目（国際遺産学分野）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01EC537	Heritage Theory and Policy Studies (国際遺産論)		1	1.0	1・2	春AB	木5	7Z306	稲葉 信子	Encompassing history, philosophy and public policies, the lecture series is about the overall picture of heritage protection in contemporary society. It deals with a range of activities from the level of international organizations including the World Heritage Convention to those of the national heritage policies of different countries.	英語で授業。 春日ブラザゼミナール室

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EC548	Role of International Organizations and NGOs (国際機関の役割)	4	1.0	1・2	春B	集中		吉田 正人, 稲葉 信子	We shall study the roles and actions of international agencies, including NGOs, which deal with the conservation of natural and cultural environment.	02JZ13と同一。 英語で授業。 5/30, 5/31
01EC549	World Heritage and International Cooperation (世界遺産と国際協力)	4	1.0	1・2	秋B	集中		吉田 正人, 稲葉 信子	Through cases of transnational cooperation, we shall learn the effects and challenges of international frameworks for cultural/natural heritage conservation.	02JZ14と同一。 英語で授業。 11/26, 11/27
01EC550	World Heritage and Civil Participation (世界遺産と市民参加)	4	1.0	1・2	秋C	集中		吉田 正人, 稲葉 信子	Through some case studies from abroad, we shall learn the role of communities in the conservation of cultural/natural heritage such as cultural landscapes.	02JZ15と同一。 英語で授業。 1/28, 1/29
01EC551	World heritage and Sustainability (世界遺産と持続可能性)	4	1.0	1・2	夏季休業中	集中		吉田 正人, 稲葉 信子	Is it possible to establish a sustainable society through conservation of cultural and natural heritage? Through various case studies from other Continents, we shall explore future directions.	02JZ16と同一。 英語で授業。 9/26, 9/27
01EC552	International Conventions for Heritage Conservation (国際条約論)	4	1.0	1・2	秋B	集中		吉田 正人, 稲葉 信子	Through an extensive lecture, which will tackle environment, heritage conservation and development, with case studies from various countries and regions around the world, we shall learn how we continue to live with heritage, how at times we need to fight for conservation and to respect sustainable livelihoods in the rapidly changing world.	02JZ12と同一。 英語で授業。
01EC564	Project Practice in World Heritage	7	2.0	1・2	春季休業中	集中		吉田 正人	By carrying out field studies at an identified site outside Japan, we shall learn what is actually at stake in identifying with our own eyes the issues and challenges, who are the actors, what are their respective roles, and how consensus-building is made for a chosen solution for the better of balancing heritage conservation and sustainable development.	02JZ106と同一。 英語で授業。 合野外調査 オーストラリア・タスマニア

選択科目(文化遺産の評価と保存分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EC510	保存哲学特論	1	1.0	1・2	春AB	月5	7Z306	杉山 卓史	遺産保護における特定のトピックについて詳細な哲学的考察を加える。今年度は「ふるる」ことについて。	春日ブラザゼミナール室
01EC516	建築遺産論	1	1.0	1・2	春B	月3,4	7Z306	下田 一太	多様な歴史的背景や立地条件に根差した建築遺産の調査研究の方法や保存修復について、日本やアジア各国における事業の事例を通じて解説し、建築遺産の幅広い保存・活用の理念と技術を習得する。	春日ブラザゼミナール室
01EC520	美術遺産論I	1	1.0	1・2	春AB	火3	5C402	八木 春生	中国で世界遺産に認定された雲岡石窟および龍門石窟を取り上げ、様々な角度から分析することで、この石窟の評価を行い、導き出されたそれぞれの特殊性を基盤として、石窟の保存を考えていきたい。	
01EC521	美術遺産論II	1	1.0	1・2	秋AB	火3	5C402	八木 春生	中国で世界遺産に認定された敦煌莫高窟、また麦積山石窟を取り上げ、様々な角度から分析することで、この石窟の評価を行い、導き出されたそれぞれの特殊性を基盤として、石窟の保存を考えていきたい。	
01EC524	保存科学概論	1	1.0	1・2	春AB	火5	5C402	松井 敏也	保存科学の沿革・保存科学技術のあり方・研究方法を論じ、保存修復事例をもとに文化財を取り巻く保存環境・劣化現象の解明、その保存対策の手法について解説する。	
01EC530	保存工学	1	1.0	1・2	秋A	火4,5	5C402	松井 敏也	修復材料の科学的特性を正しく理解し、これを応用する技術的能力を養うため、実際に材料を使って実践的授業を行う。科学的特性と修理に至る科学的根拠を論じ、文化財修復のための材料や技術が応用できる知識を養う。	
01EC555	保存科学演習	2	3.0	1・2	通年	随時		松井 敏也	保存科学研究の基本である、材質分析・構造調査・保存環境の調査方法について、調査機器を用いた実地研修を行う。	
01EC556	建築遺産演習	2	3.0	1・2	通年	随時		下田 一太	アンコール遺跡(カンボジア)での保全修復事業の体験を通じて、世界遺産における多様な課題への対策について実践的な体験を行う。	
01EC562	美術遺産演習	2	2.0	1・2	通年	随時		八木 春生	中国南北朝から唐代(317~907)、中国各地で展開した仏教美術の様相に注目する。各地に現存する仏教美術作品を具体的にみることで、それぞれの時代の地域の独自性あるいは統一的な様式、形式の成立を明らかにする。	

選択科目(遺産のマネジメントとプランニング分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EC518	文化的景観論	1	1.0	1・2	春AB	火4	5C402	黒田 乃生	文化的景観について、景観の概念の変遷、景観と社会の関係、文化的景観の定義などの基礎的な知識の習得に加え文化的景観の評価および保全に関する事例を紹介する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EC531	遺産整備計画論	1	1.0	1・2	春A	月3,4	7Z306	上北 恭史	遺産の歴史的価値を評価して未来へ残していくために、遺産の保存手法、環境整備等について論じ、社会的保護制度や遺跡、建造物の保存手法、地域再生事業などの活用計画について考究する。	春日プラザセミナー室
01EC533	遺産観光論	1	1.0	1・2	秋AB	月4	7Z306	伊藤 弘	観光に関する用語や意義、課題等に関して概説を行い、利用と保護が同時に求められる、自然遺産および文化遺産を利活用する観光のあり方や考え方について考察する。	春日プラザセミナー室
01EC558	遺産保護と地域社会	1	1.0	1・2	秋B	火4,5	5C402	黒田 乃生	世界遺産がある地域またはその周辺の地域と遺産保護の関係について、さまざまな立場からの事例紹介を通して遺産保護のありかたを考究する。	
01EC559	インタープリテーション概論	1	1.0	1・2	秋B	随時			自然遺産および文化遺産の価値を利用者にどのように伝えるのか、その技術や伝えるべき対象とする価値の捉え方について、実際の事例を通して考察する。 初回 講義(於:筑波大学春日プラザ3階セミナー室) 二回以降 現地視察	02JZ023と同一。
01EC560	プランニング演習	2	3.0	1・2	春C秋ABC	随時		伊藤 弘	自然および文化遺産の持続的な利活用方策に関して、特定の資源を対象に、課題の整理からテーマの設定、計画案の策定に至る一連の作業を体験し、計画の考え方や作業の流れを理解する。	
01EC563	遺産整備計画演習	2	2.0	1・2	通年	随時		上北 恭史	遺跡や歴史保存地区などで実施されている遺産保護・活用事例に触れ、保存事業や地域再生、観光事業について考察を行い、遺産の保護と活用計画の立案について習得する。	